

*夏休みになりました。毎日暑いですが、皆様いかがおすごでしょうか。

//// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・ ISO 情報.....削減貢献量とカーボンニュートラリティの新しい動き
- ・ LCAF からお知らせ...7/23 土に初級検定試験を行いました。
今後の LCA 研修の予定を決めました。
- ・ 編集後記.....ほんとうに暑いですね。新しい事務所？

■■ ISO 情報：削減貢献量とカーボンニュートラリティの新しい動き ■■

○ISO14068(カーボンニュートラリティ)

6月末から7月5日(火)、7月7日(木)と続いたWGが終わり、CD(コミッテイドラフト)ができました。今後各国に回付され、国としてのコメントを出すこととなります。今までお伝えしてきたように、カーボンニュートラリティの定義は、「排出量(Emission)=除去量(Removal)+オフセット(カーボンクレジットの購入)」です。排出量の算定方法は、組織についてはISO14064-1:2018(組織のGHG排出量の算定方法)を使い、製品についてはISO14067:2018(カーボンフットプリント(CFP))を使うということが書かれています。削減貢献量(Avoided Emission)の記述はどこにもありません。

○ISO/DTS14069 (ISO14064-1:2018の使い方)

組織のカーボンニュートラリティの算定に使うISO14064-1の具体的な使い方を示すTR(技術報告書)だったのですが、TS(技術仕様書)として修正版が回付されました。この修正版では、リサイクルについてですが、削減貢献量の算定が認められています。たとえば、リサイクルで再生材料を作る場合に、再生材料ができる分だけGHG排出量を「控除」することが認められています。リサイクルの削減貢献量は、SCOPE3では認められていません。その他はSCOPE3とよく似ていて、SCOPE3との対比表もAnnexについています。これから各国の投票が始まります。賛成多数でこのまま発行になるかどうか結果が楽しみです。

○ISO14064-1:2018(組織の排出量の算定方法)

このISOに製品の削減貢献量を入れ込む改訂を行うかどうかの各国投票が始まりました。前号のLCAF通信でお伝えしたように、ISO14064-1のフランスの議長が強く主張していた提案です。8月中旬が投票の締め切りです。多数の国の賛成を得て改訂の検討をはじめることができるかどうか、注目したいと思います。

○IWA42 (Net Zero)

IWAは国際ワークショップでの合意を文書にするものです。英国の提案で、Net ZeroのIWAを作成するワークショップが7月13日(水)に行われました。残念ながら私はリアル出張があったので参加できませんでしたが、ISO/TC207の国内委員会の事務局さんが参加して報告してくれました。原案に1500ものコメントが寄せられ、それを反映したドラフトが8月9日(火)と10日(水)に行われる次回と、8月31日(水)と9月1日(木)に行われる次々回で議論され、9月上旬にはIWA42として発行されるということです。これらのワークショップは、関心がある人は誰でも参加できます。次回には私も参加し、このLCAF通信の次号で内容をお伝えしたいと思います。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

○「LCA初級検定試験」を2022年7月23日(土)にオンラインで行いました。問題と解答をなるべく早くホームページで公開します<<https://www.lcaf.or.jp/seminar-2.html>>

なお、次回の「LCA中級検定試験」は9月17日(土)午前に行う予定です。

・LCAFの「初級検定試験」は、LCAを学ぶ人が誰でも知っていなければならない基礎知識を問うものです。「中級検定試験」は、自分でLCAを実施をする人が最低限知らなければならない知識を問うものです。LCAの実践的知識を問う「上級検定試験(仮称)」は、今後LCAの実務の経験が長くまたLCAを熟知している識者の方々による委員会を組織し、実施計画を作って行きたいと考えています。

○今後の LCA 研修の予定を決めました。順次ホームページでお知らせします。

- ・初級研修
2022年9月6日(火)と7日(水)の午前、および
2022年12月12日(月)と13日(火)の午前
- ・次回 LCA 中級研修
2022年11月10日(木)と11日(金)の午前

■■ 編集後記 ■■

暑い日が続きます。ISO の会議が始まる前のオンラインの雑談で、ヨーロッパの各国の参加者がとてもたいへんと言っていました。私が 1990 年にウィーンに滞在していた頃は、冷房があるホテルはまだ少かったのですが、もうどんなホテルにも冷房はあるでしょうね。私が働いていたウィーンの研究はウィーン郊外のハプスブルグ家のお城だったのですが、もちろん冷房はなく、日中の気温が上がると帰宅命令が出ました。冬はどんなに気温が低くても帰宅命令は出ません。暖房があるからです。

LCAF も設立して 3 回目の夏になりました。賛同会員の皆様に支えていただき、またカーボンニュートラルの流れの中でのお問い合わせも多く、何とかつぶれないで継続できています。コロナ禍にも拘わらず、最近では面談でのご相談をご希望される方も多くなって来ましたので、少人数の面談ができる程度の賃貸事務所を借りることを考えています。練馬の自宅から通うことを考えるとやはり池袋かなと思っていますが、、LCAF 通信の次号で新事務所をご紹介したいと思います。

夏休みになり、とても暑くなりました。今年は蝉が鳴くのが遅いと思っていましたが、都内練馬区の我が家の周りでもやっと鳴き始めました。でも例年に比べるとまだ少ないように思います。そういえば、北海道の川でウナギが捕れるようになったとニュースで言っていました。温暖化が進んでいるのだと思います。皆様、暑さに負けないように、健康に注意して過ごしましょう！

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構
Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)
(エルカフと呼んで(読んで)ください)
〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1
インフィニティ池袋 8F52
電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp
URL:<https://lcaf.or.jp/>